

順位	氏名（議席）	発言の要旨
14	藤田 哲哉（19）	1. 旧吉原林間学園跡地の利用及び近隣の排水対策について 旧吉原林間学園（以下、「学園」という。）跡地利用に関する近隣排水対策につきましては、令和2年度及び令和4年度に地元片倉町内会にて、市の方針について担当より説明会が開催されました。最終的には、民間活力の活用により事業期間の短縮、調整池築造費の圧縮が期待できるとし、必要調整容量の確保を条件に、民間事業者に学園跡地を売却し、土地を購入した民間事業者が、調整池を整備し残地を活用するという方針が示されました。 しかしながら、その後3年が経過した現在も、民間事業者の参入に関する具体的な進捗状況やサウンディング調査の結果についての説明がないまま、状況は停滞しています。その間、簡易的な排水対策は行われたものの、根本的な解決には至っておらず、豪雨時の浸水被害は依然として解消されていません。 そこで、以下伺います。 (1) これまでのサウンディング調査の結果や民間事業者との交渉状況について、地元の説明できる具体的な進捗状況を伺います。 (2) 住民の安全を守るため、市が主体となって学園跡地を調整池として整備し、併せて近隣の排水対策も一体的に行うという方針に転換するお考えはあるのか伺います。